



# 国際第2委員会



領域 ヨーロッパ、アフリカ、条約(PCT等)

活動方針  
・委員の人脈形成および成長のための気づきの場を提供する  
・国内外におけるJIPAプレゼンス向上に繋がるアウトプットを行う

## 【主な活動】

- ・テーマに沿った調査・研究及び結果の論説等によるアウトプット
  - 『欧州特許を上手に取得する方法』、調査団報告書
- ・EPOや統一特許裁判所準備委員会によるパブコメに対する意見提示
- ・関係機関（EPO, WIPO等）との意見交換



EPOとの会合(@東京)



WIPO本部(@ジュネーブ)

## 第1小委員会

欧州における知財関連制度に関する調査・研究

### WG1 『欧州出願ルートに基づく知財戦略の解析』

狙い

特定の業種／特定の技術分野において、欧州での権利化に際し、どのような出願ルート（PCT経由EPO, PCT経由各国、パリルート各国等）の使い分けが行われているか解析し、知財戦略を読取ることによって、欧州特許の上手な取得に向けた知見を抽出する。

### WG2 『欧州補正要件の調査研究』

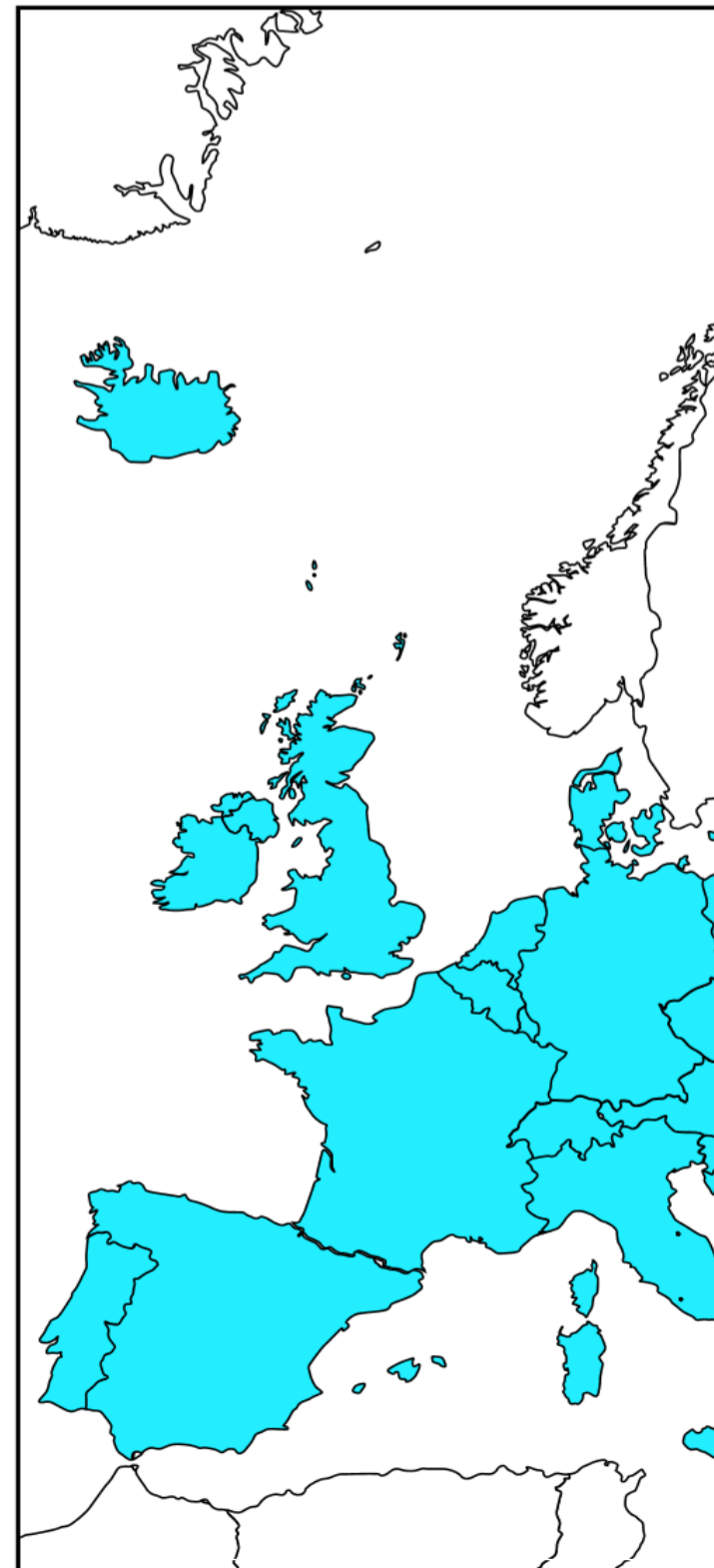
狙い

日本、米国より厳格だとされる欧州の補正要件、中でも、Intermediate Generalization（中間一般化/中間的上位概念化）に対し、調査・分析を実施し実務上の留意点を見出す。

### WG3 『欧州各国の訴訟・判例に関する調査・研究』

狙い

欧州領域における出願・権利化国の上手な選択にむけて、各国訴訟制度（DE, FR, GB, IT, ES, NL）を俯瞰すると共に、各国の実務上の特徴をオフェンス・ディフェンスそれぞれの視点で比較・分析し、訴訟制度を視点とした出願・権利化国の指標を提案する。



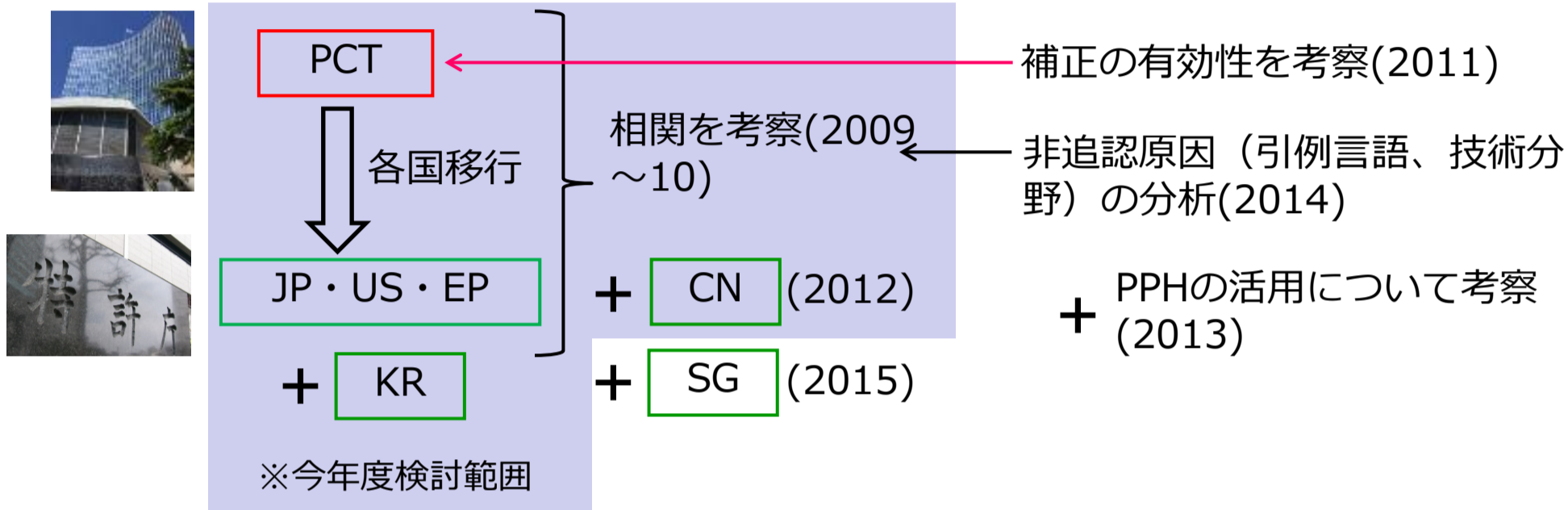


### 第3小委員会テーマ名『国際調査に関する考察』

狙い

PCTルートで得られる国際段階成果物に注目し、国際段階と国内段階とにおける引用文献・特許性に関する見解等の異同について、近年の動向を調査・分析する。これにより、会員企業がPCT出願を巧く利用するに際して有益なISA選択情報を提供する。

#### 【考察内容の概略図】



### 第2小委員会 『ビシェグラー(V4)グループにおける調査研究』

狙い

・ビシェグラーグループに所属する4カ国(ポーランド、ハンガリー、チェコ、スロバキア)はいずれもEU加盟国であり、内3カ国は、将来の単一効・統一特許裁判所制度に参加する可能性が高い。又、4カ国全体のGDPはメキシコやインドネシアに匹敵し、一定の経済規模を持つ。しかしながら、V4グループの知財制度、運用や利用実態に関する情報は非常に少ない。こうした背景から、これら国々の知財制度と運用・利用実態を調査する。

・2016年はポーランドへ注力予定。  
ポーランドの経済環境を調査し、事例を設定し検討予定

調査・研究結果を知財管理誌へ投稿予定

ご期待ください!